

タイ山岳民族自立支援プロジェクト

中間評価調査報告書

平成 13 年 2 月

国際協力事業団
青年海外協力隊事務局

序文

タイ山岳民族自立支援プロジェクトは、タイ初の協力隊チーム派遣として、プロジェクト対象地域であるターク県内 4 カ村の山岳民族自立に協力することを目的として開始されました。

協力期間は 1997 年 10 月から 2002 年 9 月までであり、これまでにシニア隊員 3 名、短期緊急派遣隊員 2 名、一般隊員 13 名が派遣されてきました。現在は、シニア隊員 2 名と一般隊員 4 名の合計 6 名が活動しております。

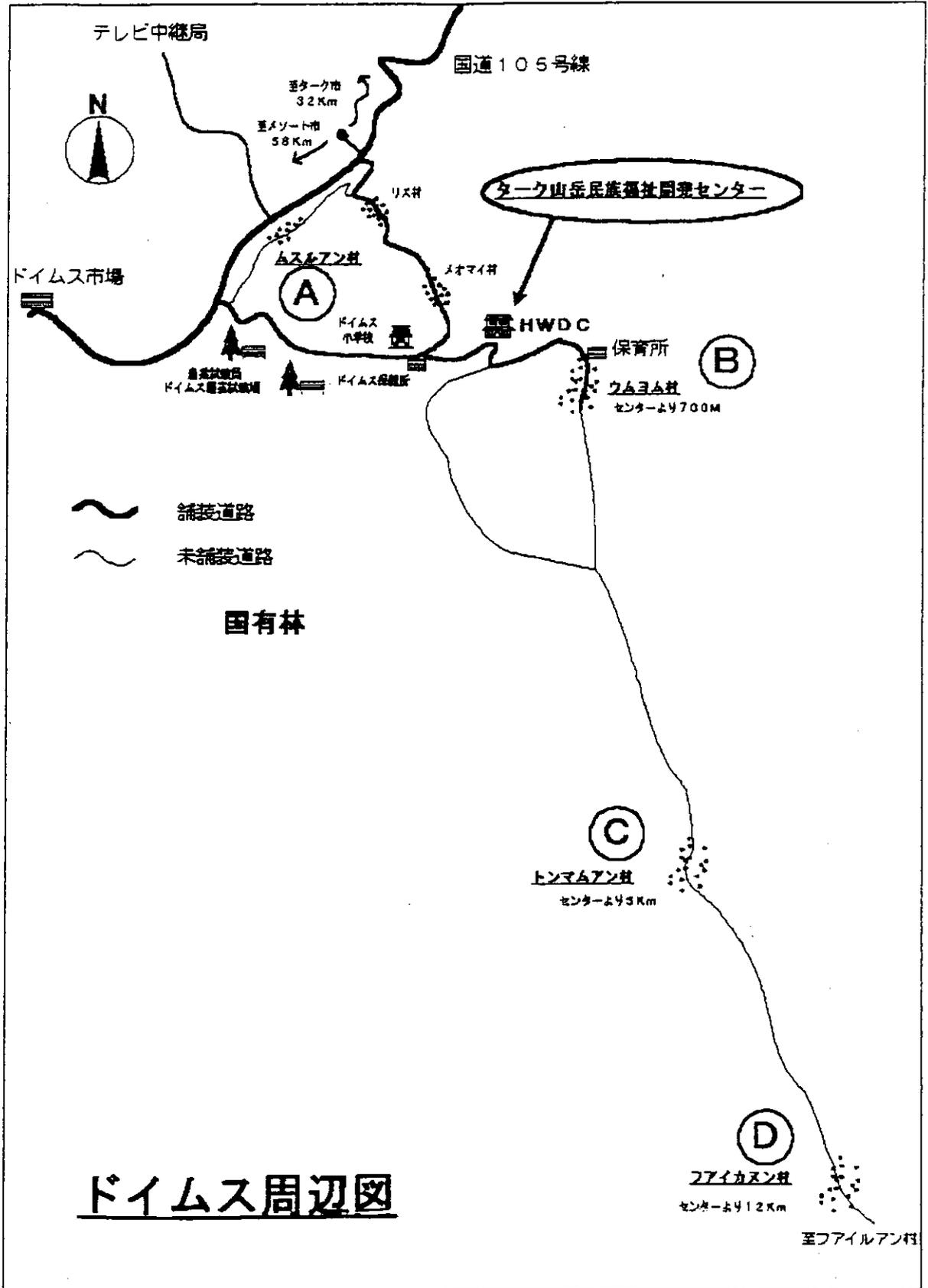
2000 年は協力期間 3 年目を迎えており、中間評価の時期にあたります。本調査は、隊員が協力している事業の成果を確認し、今後の協力計画の内容につき協議し、調整することを主な目的として実施しました。本報告書が、広く有効活用されることを望みます。

最後に、本調査団を派遣するにあたり、ご協力をいただいた国内関係機関及びタイ政府の方々に謝意を表すとともに、今後ともご支援をお願いするものです。

平成 13 年 2 月

国際協力事業団
青年海外協力隊事務局
事務局長 金子 洋三

プロジェクトサイト周辺図





ムスラン村にて村民にインタビュー



ムスラン村の水道施設



ムスラン村のトイレ（利用率は高い）



ムスルアン村のトイレ（水洗式である。）



ムスルアン村の水道タンクとソーラーシステム



フォイカノン村の様子



フォイカノン村のトイレ
(水道が整備されていないため、ほとんど利用されていない。)



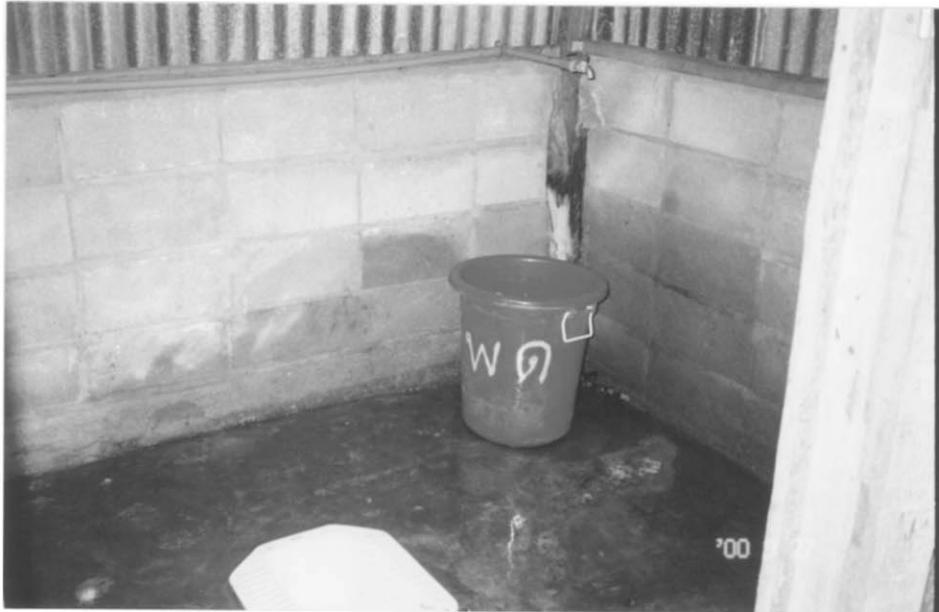
フォイカノン村の保育所に集まった村人に話を聞く。



保育所内豚舎 (保育所内で家畜も飼育されている。)



保育所内の畑で村の子供と談笑する隊員（野菜も保育所内で栽培している。）



保育所内のトイレ（水道が整備されており、利用されている。）



トンナムアン村の水道施設を動かすソーラーシステム



トンナムアン村の水道はこの泉から取水されている。



ウムヨム村保育所



ウムヨム村集会所にて村民にインタビュー



ウムヨム村内視察



タイ側との合同評価会議



日タイ合同調査チーム記念撮影